

平成29年度第4回 芦屋市交通計画協議会 会議録

日 時	平成30年2月8日（木） 10：00～12：00
場 所	芦屋市役所 東館3階 中会議室
出席者	会 長 福島徹 副 会 長 正司健一 委 員 太田裕之，大谷健太郎（代理），村田直磯，正垣あおい，下山智， 宮本博嗣，秋山秀則，増味康彰（代理），奥野雅弘，北野航（代理）， 今東直治（代理），高木良彦，宇賀克夫，辻正彦，山城勝，寺本慎児 事 務 局 白井宏和，谷川英治，三近康平，中西久
事務局	都市計画課
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <非公開・部分公開とした場合の理由>
傍聴者数	1人

1 会議次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
 - (1) 委員出席状況報告・会議の成立報告
 - (2) 芦屋市総合交通戦略について
- 4 その他
- 5 閉会

2 協議経過

○会 長 前回はパブリックコメントを実施する前段階としての素案に対し、ご意見を頂きましたが、本日は市民の皆様からの素案に対する意見と市の考え方を中心にご意見を頂ければと思います。これからの芦屋市における、市民の皆様の貴重な交通に関する施策がうまく進められるような計画になればと思っております。よろしくお願ひしたいと思ひます。それでは会議の成立と傍聴希望者について事務局からまず報告をお願ひしたいと思ひます。

○事務局 まず委員の出席状況ですが、本日委員18名の内、代理出席の方を含めまして18名、皆様にご出席いただいております。過半数を超えておりますので会議は成立しております。傍聴希望者でございますが、本日1名来られております。入室していただいておりますでしょうか。

○会 長 はい。入室いただいております。

（傍聴人入室）

○会 長 それでは、議事に入らせていただきたいと思います。本日の議事は昨年12月17日から1月26日まで行いましたパブリックコメントの内容と、それに基づく芦屋市総合交通戦略のご説明をしていただくことになっております。よろしくお願ひしたいと思ひます。それでは事務局からご説明をお願ひします。

○事務局 （3議事（2）総合交通戦略について説明）

○会 長 ありがとうございます。先程申しましたように、パブリックコメントを行い、いろいろなご意見を市民の皆様に取りました。その意見に対しての市の考え方、具体的な対応について、説明を行っていただきました。ご質問ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。特にパブリックコメントに対して、丁寧に考え方を示していただいておりますけれども、せっかく寄せていただいた意見ですので、もちろん、これは無理だなというものもあるのですけれども、それはそれできちんと答えておく必要もあります。

○委 員 データについては短期間の中でよくこれだけまとめられたなと思いますし、初めの総合交通戦略の目的とか、それから上位計画というのはなかなか市民の方も読んでいて難しいと思いますが、スローガンみたいなのが書いてあるから結構だと思うのです。課題もよくまとめられていて、皆様からの意見でもあったのですけれど、例えば阪急から上の方は、バスが通ってない所があり、市境の方に行きますと1キロメートルくらい坂道を歩かないといけないのです。課題としては出ているのですけど、具体施策ということになると駅周辺整備の施策以外は抽象的なスローガンが多いです。これだけの委員の方が来られて、具体策が無いというのは甚だ寂しい限りです。安全・安心・住みよい・便利な交通と書いてあるけれど、具体策が少ないのです。駅周辺ということでJRのことも阪神打出のことはかなり具体的に書いている。それから無電柱化でもさくら参道ということぐらいは書いてあるのですけど、他はみんなきれいごとなのです。月若橋の西詰め、数百メートルでは、山手幹線が開通して、とても交通量が増えました。特に朝と夕方、車が本当に多いです、時速30キロメートルという規制がかけてありますけれど、ものすごいスピードで通行します。この戦略では、生活道路の安全って書いてあるけれど、結局市民にしたら自分の家の前がどうなるのかということなのです。ここに信号を付けてほしいとか、横断歩道を付けてほしいとか、学童の通行路には緑のペンキを塗ってほしいとか、そういうことなのです。具体策が無かったらどうしようもないのではと思うのです。打出の駅の所の踏切が開かないし、開いたら踏切が閉まる前に急いで行ってしまいます。43号打出交差点の信号が赤になると詰まる訳です。危ないなと思ってどうするのかと思ったら、路面を赤く塗って踏切注意と書いていました。阪神電鉄の方がおっしゃりたいのは、多分高架も考えてほしいということかなと思っているのですが、そんなことには全然触れていません。この会議でも言いましたけど、やっぱり稲荷山線が先かなと思います。南北交通の所ではそういうことにも触れていません。これだけの方々が集まったのに具体的なことが全然無い。もっと具体的に、いつ実施するのかということが問題です。予算のこともあるでしょうが、抽象的なことしか書いていないということが私の率直な意見です。

○会 長 最終的には計画の実現に向けてという章がある訳ですが、より具体的にどう説明していくのかということとも関わってくるかと思いますが、あるいは具体的に書ける所はもう少し無かったのかということも含めて、事務局の方から今のご意見に対してご説明をお願いします。

○事務局 まず総合交通戦略につきましては、大きな方針という部分からどういった施策を実施していくかということの説明させていただいている構成になってはいますが、JR芦屋駅南

地区など、具体的に事業実施が予定されているものにつきましては、この交通戦略の中でも反映させていただいております。例えば、ご意見にもありましたように、空白地域の交通をどうするかといったこと、生活道路の安全対策、その対応ということにつきましては、交通戦略で個別具体の策をお示しすることができれば御理解をいただきやすいと思っておりますが、課題への対応として、まずは、どのように改善を図るのかという方向性を交通戦略の中でまとめさせていただいておりますので、具体的な部分については個々の課題を踏まえた上で、更に議論を深めていくものをご理解いただければと考えております。

○会 長 もう少し踏み込んで、ここで方向性を示されたものを、市民の皆様にも加わっていただいて具体的にどこからどうするとか、なかなかここは書いてあることが進んでないなどといった議論について、市としてはどのように進めていこうとお考えかという辺りをもう少し触れていただいたらどうでしょうか。

○事務局 交通戦略の推進体制につきましては、また後ほど説明をさせていただきますが、課題の解消のため関係する交通事業者や関係機関の皆様とも双方での課題整理を踏まえて、一定こういった施策が必要なのではないかとということがまとまりましたら、例えば上位計画であります総合計画や、都市計画マスタープランといった所に位置付けるということでも、また市民の皆様にご意見をいただく機会としては出てくるかと思っておりますので、そういった上位計画の中でも位置付けを明確にしていくということが重要ではないかと考えております。

○会 長 ぜひご検討いただければと思うのは、こういう方向性を示してあります、と書いている所は具体的にはどう進めて行くつもりなのですか。あるいは、ここはぜひ実施してほしいといった市民の意見を議論する場というのですか、それがこの推進体制になるのか、違うものなのか、結果に向けて実質的に議論できるような場を、何らかの形でお考えいただけると良いかと思えます。

○委 員 冒頭には具体的施策って書いてある訳です。先ほどの月若橋の様な問題はいろいろとあります。一方通行にしたらできないし、歩道幅を広げたら余計通れなくなるし、速度20キロメートル規制という方法もあるのです。いろんな方法があるのですが、こんな一般的な回答しか仕方がないだろうと思いつつながら、あまりに具体性が無いので、書いていただきたいと思うのです。将来交通ネットワークの図中にある5箇所の緑色の線は何ですか。

○事務局 地域内での回遊性をイメージとして示したものです。

○委 員 奥池は人口約1,600人。浜地域は約12,600人、南芦屋浜地域で約5,600人ですか。浜の方は県が造成してものすごく良いのです。公園もあるし、道幅も広いし、車が飛ばさないように直線道路は少ないのです。交通事故の市内の全体の分布もあつたら良いと思うのですが、何故こんな所を回遊するのかと言いたいです。主要な4つある駅に行くとか、市役所に行くとか、公民館に行くとか、買い物に行くとか、ということだろうと思うのです。例えば施策例に、コミュニティバスの写真があります。実施箇所としては市全体と書いてあるのですが、例えば重点的にここで実施するということを書かないと意見の言いようがありません。何故そこだけという人も居ると思えますが、具体的に書いて市民に反対されたらどうしようという防御意識の方が高いのではないですか。スローガンだけだったら、意見も言えないです。

- 会 長 もう少し事務局側でも説明をしていただいてもよろしいでしょうか。交通は、買い物へ行かれたりとか、病院に通われたりとか、市民の皆さんの生活を支えなければいけない。それとどう繋がっているのかということも含めて、少し補足していただけますか。
- 事務局 将来交通ネットワークの図で説明をさせていただきますが、ご指摘いただきました緑の矢印は、地域内での移動ということを概念化したものです。それから、水色の着色で十字に交差した格好になっている矢印が、地域間あるいは都市間の移動を示したものとということで、その軸の周りに地域内移動の緑の矢印があるのですが、こうしたネットワークにより、移動がしやすい環境の構築を図っていきたいということをお示ししておりますので、地域内だけの移動を捉えているものではないということをご理解をいただきたいと考えております。
- 委 員 この図の所でも、芦屋市の中で、東西は相当便利で南北の移動が今後問題になってくるので、その結節点をいかに機能向上させるかというのは第一だと書かれています。市民の方々からの意見の中でも、JR芦屋駅とか阪急芦屋川駅ですとか、その問題を結構書かれていて、「鉄道駅へのアクセス性・利便性の向上」で、具体的に進めているものについてももう少し書かれたらどうかというお願いをしたのですが、結果、位置図だけ入れられているというのはなかなか書きにくいのかなと推測しました。結節点事業の芦屋市の目玉はこれのかなと思うのですが、JR芦屋駅南地区の再開発事業について、現在の状況と今後の展開、そして事業を進めていく中で頂いている意見を反映する機会、今までどの様に意見を聞かれて今後どの様に聞いていかれるのかということをお教えたいただけたらと思います。これは総合交通戦略なので、なかなか書けないとしても、やはりこれを踏まえて、優先度の高い案件については具体的に実施されていくことになると思いますので、再開発について、具体的にどういうふうに取り組まれているかを教えていただきたいです。
- 委 員 JR南地区の市街地再開発事業は非常に長い経過がございまして、平成13年の12月、この事業の都市計画手続きに着手しようとしておりましたが、市の財政状況が非常に厳しいということで一旦着手を延期しています。その後、平成23年度から、再度事業を立ち上げようということで、地元の方々と市とで協議を進めてきました。その結果、昨年3月31日に都市計画決定を終えました。現在、事業計画の策定を完了し、今後、縦覧を予定しております。その後、事業認可申請と兵庫県の事業認可を予定しています。また、その後、管理処分計画などを作成した後、用地の取得をさせていただき、工事の着工ということになります。なお、事業計画に示している事業の完了は平成35年3月31日を予定しているところです。事業認可はまだ下りていないという状態であり、また地権者の方々の財産の上にこの事業は成り立つものですので、厳しいご意見も頂きながら現時点ここまで来ている状況でございます。広報やホームページにおいていろいろな形で事業内容を周知していますので、事業の進捗に応じて情報発信をしていきたいと思っております。
- 委 員 パブリックコメントでこれだけ意見いただいているのですが、その再開発事業に市民の声は反映されるということでもよろしいですね。
- 委 員 頂いた意見を参考にして内容を決定していくということがこれから重要になると思います。できること・できないことはあるかと思っております。
- 会 長 かなり仮定の話もありますので、それを総合交通戦略に書いていくこと自体は難し

いと思います。ただ、駅南の再開発計画の今後の進め方も含めて、情報発信として、関連する意見を多々頂いたけれども、こんな感じで対応していくということを、このパブリックコメントの最後の所に列記すれば良いのかもしれないということです。少し無理のある意見もある訳ですが、そういうものを聞きながら、最終的には市民の皆さんの総合的な支持がある方向で、進めざるを得ないのだらうと思います。その辺りを、もう少し書き加えてあっても良いかと思います。

○委員 将来交通ネットワークの所で課題を整理されていて、その後、施策に入るとみんな全市的な話になっていくということですが、ただ一方でJR芦屋駅周辺ですとか少し個別具体の箇所が載っているところがあります。できれば、もう一回全市の図を出して、局地的に実施しているものはこの場所だということを、お示しいただいた方が分かりやすくなるのではないかと思います。と言いますのは、今回課題を整理して将来像としてネットワーク図のような形を目指しますと書いてあります。その中での施策については、5年程度のスパンで、まずはこれに従って今は実施していますとなりますが、そうすると、資源的にもお金のにもなかなか難しく手を付けられてないものは、今後議論していきましようという所が市民にとっても分かるようになると思うのです。そこは先で議論を進めていこうとなり、またPDCAサイクルを回していけるようになると思うので、できればこういった施策を地図上に「見える化」していただくと、なお分かりやすくなると思いました。あと、個別施策の所で、施策ごとにイメージ図と説明で書いてあって、とても分かりやすいなと思ったのですが、載っているものと載っていないものがあるので、せっかくなら全部書いてある方が良いかと思います。市民意見にある、どの施策も具体的に示されていないという所にも対応して、より一層分かりやすくなるのではないかと思います。それと「評価指標及び目標値」では、項目がたくさん書いてあって、何が何に対応しているのか分からないということと、例えばバリアフリー化率のように、お金と時間をかけて、施策を進めることで達成できる数字と、一方で交通事故の件数などのように、いろいろな対策をして結局減るかどうかわからない数字があり、直接的にできるものと間接的に表れるものが混在して書かれています。個別に項目として実施していきますというものと、交通事故件数のようにそれによって期待される効果として減らしていきますというものとを、振り分けて書いてはどうかと思います。最後に、市民意見では、物流について記載がないと書かれていて、結構大事な点かと思いますが、例えば「交通ネットワークの充実」では、都市計画道路等の整備検討を行いますと書いてるので、ここで検討しますという回答にした方が良いのではないかと思います。

○事務局 まず、全体の位置関係が分かる図があればということですが、こういった表記ができるかということで一度検討させていただきたいと思います。次に、施策の内容として詳細に書いてある部分と、特に記載が無いものがあるということですが、考え方として、重点施策に位置付けているものについては、内容を具体的に記載させていただいているという整理をしております。「評価指標及び目標値」については、実施施策の中でも関連する施策に対する指標をその都度掲載しておりますが、ご指摘のとおり、一覧表の部分では、直接的な指標と間接的な指標とで、性質が違うものがそのまま列記している形になっていますので、それにつきましては、分かりやすい表現ができるかと思います。

- 会 長 全市の中での場所を示すということで、より分かりやすくする工夫ができるのであれば、可能な範囲で手直しを検討していただく方が良いかと思います。
- 委 員 芦屋川の東側に改札を設置してはどうかというご意見に対する回答なのですが、改札を作るというのはやはり非常に大きな事業ですし、鉄道事業者だけで実施できるものではありません。改札を出た所の周辺整備や既存の改札との棲み分けもあり、また周辺での利害調整も発生することから、全てを鉄道事業者が調整できる訳ではございませんので、行政として関与しないと受け取られるような表現は改められた方が良いかと思います。
- 会 長 あまり第三者的にならないように、少し文言を整理した方が良いかと思います。
- 委 員 市全般ではなく、できてない所がどこで、こういう考え方でこういう所を先に実施するとか、要するに住民は具体的なことしか知らない、要求してないのです。スローガンはいつでもいいのです。いろいろと書いてありますけど、目の前の道路やバスがどうなるかということなのです。JRと阪神打出と無電柱化以外、みんな抽象的にしか書いてないので、もう少し具体的に書かれても良いのではないかと思います。稲荷山線のこととか、山手幹線のこととか、阪神の立体交差のこととか。
- 会 長 趣旨は分かりました。今の段階でどこまで書けるかは別として、先ほどもお話ししました様に、この戦略を具体的にどう進めていくのかということについては、ぜひご検討いただいて、そこにしっかりと市民意見を反映できればと思います。
- 副会長 これは戦略のレベルということで、実際に今動いている所、着手が決まっている所以外はあまり具体的なことではなく、方向性を示されているという原案になっていると思います。冒頭に書かれている総合的かつ戦略的な交通施策の取り組みを推進するためにこの計画があり、そこへの方向性は示されていますが、それをどう進めるのかという所が見えにくい形になっているので、いろいろなご意見が出るのだと思うのです。PDCAを行って中間評価で戦略を見直すという話は、あくまでも戦略レベルのこととなってしまうのですが、その上の段落ではこれを「市民参画と協働のもと進める」とあります。会長もおっしゃられましたけれども、その中でどう個々の事業の具体化をして進めていくのか。その時に市民さんにも理解していただかないといけないような情報とか、限られた予算で考えないといけないことがいろいろあるのだと思うのですが、例えば優先順位をどう考えるかという話も含めて、市民の方々とも議論しながら計画の実現へ向けて前進していくわけですね。その書き方だと思うのですが、そういった話をこの戦略の方向性を実現するに当たってという形での文章があれば、もう少し市民の方々にとっても分かりやすく、前向きになるのではないかと思います。次に、前回の会議で概要版を作られたらどうかという意見に対して、市民意見募集時に作りましたということですが、この内容で説明するのはなかなか大変だと思いますので、やはり概要版は改めて作られるべきかと思います。
- 事務局 PDCAサイクルの部分につきましては、今回、若干表記を改めておりますが、ご指摘のとおり、これではどういった形で進めていくのかということが分かりにくいかと思うので、表現につきましても再考させていただきたいと思います。それから概要版ですが、市民意見募集に当たりまして、概要版を作成させていただいておりましたが、その内容を元にして、改めて本戦略の概要版をまとめたいと考えております。

- 委員 「取組の主体と役割」の中では、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通事業者が公共交通の担い手として、という記載があるのですが、「現状」の整理では、特にタクシーについての記載が無いので、タクシー協会さんのご意向も踏まえながら、「タクシーについては、今後交通を担っていく」というような内容を入れてもらうことも一つなのかと思います。
- 事務局 「現状」では、鉄道とバスについて、運行状況を図で記載させていただいているのですが、何かここに触れられる部分があればというご意見かと思しますので、どのように反映できるか、表現も含めまして、検討させていただきたいと思えます。
- 会長 「現状」では、公共交通空白地域があるということが示されていますので、その問題解決にタクシーを利用するという事は一定の役割を持つてくるのではないかとということで、何らかの形で書き足すと良いと思えます。
- 委員 県道奥山精道線のご意見ですが、県が管理する道路ですので、意見に対する県の考え方は市にお伝えしていますが、ここでは、市の考え方としてまとめていただければと思えます。それと市の考え方として、「実施にあたり考慮」とされている取扱区分で、将来的に「実施にあたり考慮」が本文中のどこかで担保できないかと思うのですが。
- 事務局 対策の実施を担保するという事ではなく、対応として、どのような施策が考えられるかということを検討していくことと考えておりますので、「実施にあたり考慮」とさせていただきます。市の考え方としましては、「個々の道路状況に応じてどんな施策が考えられるか」という事は検討してまいります」という部分でお示しさせていただいております。
- 会長 これ以外の所でご指摘をいただいていることとも関わりますので、文言的に整理ができるようであれば検討していただきたいと思います。パブリックコメントの回答はとても大事だと思っておりますので、なるべく丁寧にどこが所管だと言う形で置かないように、市の考えをなるべく上手く表せるように工夫できればと思えますのでよろしくお願い致します。
- 委員 例えば、地元を含めて分科会のようなものを設置する必要があると思えます。立派な戦略ができて、結局市民の要求とは、誰が、どこで、どういうことをするのか、ということなのです。
- 会長 この総合交通戦略が最終的に策定された、その後の具体化に向けて、市としてどう取り組むかという所で今の意見に少しでも近付ける必要があるのだらうと思えますので、市で今、お考えいただいている部分をご説明いただきたいと思います。
- 事務局 「計画の実現に向けて」の章の説明となりますが、「評価・改善の仕組み」の中では、計画開始年次から概ね5年で事業の実施状況と目標の達成状況、上位計画や関連計画の改訂、交通環境の変化等を踏まえ、必要に応じて本戦略の見直しを行うとしております。ただ、5年間でのPDCAサイクルでは進行管理が難しいのではないかとということで、策定から概ね2年程度を目途に施策推進のための協議会を開きまして、交通事業者様等の取組状況を確認させていただきたいと考えております。例えば毎年、進捗調査を行わせていただき、概ね2年の協議会では、それを基に、皆様からのご意見を伺う場とすることで、今回、交通戦略に具体的に位置付けていない内容についても、進捗状況に応じて、改めて方向性をお示しできることもあるのではないかと考えております。5年のサイクルの中にも、小さなPDCAがあるというご理解をいただければと思えます。

- 会 長 「評価・改善の仕組み」はもうひと工夫できると良いかと思えます。2年のサイクルということも大切なことだと思うのですが、スタートを具体的にどう切るのかということも一方ではあります。その辺りがもう少し、具体的に見えると良い気がしますので。ご検討いただければどうかと思えます。
- 委 員 2年後に協議会が開催された時にどんな議論になるのかということ、例えば、重点施策が現在どんな状況で、2年後にはどうなっているか。具体的に議論する材料があれば良いと思えます。現在の状況としては、こんなところで工事を施工していますとか、考えていたよりは進捗しているので、目標は達成できそうだとか、最低そういうチェックは働くかと思えます。「重点施策」ではJR芦屋駅の整備についても、現在の状況が2年後にこんな状況であるという具体的な確認ができて、その後どうかという議論ができるのではないかと思いますので、そのような出され方があれば良いかと思えます。
- 会 長 「継続」と書いてあるものは、もう既に実施しておられるのでしょうか、これからのものは、「30年度はここに着手します」とか書いてあると、具体的に動くのだということが分かります。更には、具体的にどう取り上げていくかという議論に市民の皆さんがなるべく入るといことも、お考えいただくと良いかと思えます。
- 委 員 実施施策の「歩行者・自転車に配慮した道路空間の整備」にある、あんしん歩行エリアという表現ですが、以前は、国の補助金などもあり、あんしん歩行エリアの事業というのが進められてきたのですが、「施策例」では「ゾーン30」を載せていただいております、これは、あんしん歩行エリアの代替のような形で引き続き行われているものになりますので、具体のエリアとして載せられるのであれば、あんしん歩行エリアとするより、「ゾーン30」として載せた方が良いのではないですか。
- 事務局 確認の上で検討させていただきます。
- 会 長 ありがとうございます。いろいろと頂きました貴重なご意見は、可能な範囲で反映をするということで整理をしていただき、最終的な総合交通戦略として仕上げていきたいと思えますが、事務局がお考えのスケジュールでは、この後にもう一度この場を持つことは難しいかと思えますので、最終的な案については、差支えなければ私と事務局との調整ということでご了解いただければそれで進めさせていただこうと思うのですがよろしいでしょうか。市民委員の方のご意見もよく分かりますので、可能な範囲で盛り込みたいと思えます。それはこの戦略で書ける話と、実質的に進めていくという話と2つに分けるかもしれませんが、やはりこの戦略を具体的に動かしていかないといけない訳で、絵に描いた餅で終わってはいけませんから、どう具体化していくのかということについては、一定の道筋を付けたいと思えます。その辺りも含めてご了承いただければと思えますが、よろしいでしょうか。それでは、4番目のその他がございましたら事務局からお願いします。
- 事務局 本日頂きましたご意見も含めて、引き続き総合交通戦略の策定を進めてまいります。また、策定が完了いたしましたら、皆様に送付させていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。なお、パブリックコメントの結果につきましては、市議会にも報告させていただく予定となっております。
- 会 長 市議会へも報告されるということですが、最終的にどこをどう実施していくのかと

ということについては、議会での議論ということも当然関わってくるかと思えます。市民の皆さんと市民の代表である議会に理解が得られるよう進めていただければと思います。

また、最終的な総合交通戦略は委員の皆さんにお送りするというので、公表の前にそのようにしていただければよろしいかと思えます。

それでは、以上をもちましてということになりますが、実質的に、芦屋市の市民の皆様の交通をより良く発展していくような形にこの戦略が繋がればと思っております。皆様、貴重なご意見を頂きありがとうございました。